



図書館とともに40年

秋田大学附属図書館長 今野和彦



本年度から附属図書館長に任命された理工学研究科の今野（いまの）と申します。私は昭和50年に本学の当時の鉱山学部に入學し、それ以来の図書館利用者でもあります。約40年前の図書館では、本を探すとき“図書目録”なるカードを探し、それをもとにさらに本を探すという手順で今と基本は変わりありませんが、今は研究室からでも蔵書検索でき大変便利になりました。ある時期に、蔵書を全て電子登録するという膨大な作業が行われ、それが今につながっております。また、コピーが高価だった頃は論文は書き写すか他大学に複写を郵便で依頼するという時間がかかりましたが、今はCiNii、J-Stageや電子ジャーナルなどほぼリアルタイムで探したものが見つかります。現在は研究で電子ジャーナルを使うことが多く、図書館でコピーするか他大学に論文の複写依頼をしていたころとは異なり図書館に行かなくてもリアルタイムで論文が入手でき大変に重宝しております。ネットワーク化は地域の情報格差がないため地方の研究者としては生命線とも思えます。

図書館の入館者数は平成22年度までは漸減傾向で年間27万人程度でしたが、平成23年に改修と情報機器の導入で10万人以上増え現在は40万人弱で推移しております。入館者数増加の原因は、本を見ながらパソコンで検索や、関係の情報を総合できるという点にあり、レポートや調べ物、試験勉強等がワンストップでできる点にあるものと思われます。ただ、入館者数の40万人弱という数は全学の学生1人当たりにすると、1週間に1回図書館を利用するかどうかという程度のもので多いわけではありません。授業や研究する上でも蔵書はさることながら、パソコンやスマホ等のネットワーク機器からの本や論文の検索そして電子ジャーナル利用の強化を考えると図書館も今以上の情報機器・設備の充実が必要と思われます。さらに情報教育やeラーニングとの協調も必要であり、最近あまりそれらの境界がなくなって来ているのではないかと感じております。もう一つは蔵書の電子化ということが考えられ、これは本そのものを借りなくてもパソコンやタブレットのような端末機器で本や論文が読めるという利点があります。これには著作権などの問題がありまだ時間が必要かと思われますが、某社の電子本はこれをうまくクリアしていることを考えると夢ではありません。図書館は学生・教職員のサービスが仕事で今後も使いやすいものにしていきたいと考えておりますので、学生・教職員の多くの御利用をお待ちしております。

Contents

巻頭言	1
新任教員向け案内/ 学習サポーターについて	2
寄贈図書/ 図書館長との懇談会の報告/ NWE C 図書	3
図書館からのお知らせ/ 編集後記	4

新任の教員の皆様へ

～利用者カード・公費コピーカード・特別利用カード申請のすすめ！～

4月から勤務することになった教員のみなさん、ようこそ秋田大学へ！

これからの研究活動に役立つ図書館の下記3つのカードの申請をおすすめします。

最初に発行しておきたいカードは、「利用者カード」です。このカードを持っていないと、他2つのカードを申請することはできません。「公費コピーカード」は公費の予算があれば申請可能です（中央図書館のみ）。「特別利用カード」は教職員であればどなたでも申請可能です。

ぜひ3つのカードを申請して、図書館をフル活用してください。



利用者カード

図書・雑誌の貸出ができる
学外から文献複写を取り寄せることができる
学外から図書を取り寄せることができる



公費コピーカード
※発行は中央図書館のみ

図書館所蔵の資料を公費でコピーできる



特別利用カード

閉館時でも入館できる
図書・雑誌の館内閲覧、備え付けPCの利用ができる

※お申し込みの際は、サービスデスクまでお越しください。「公費コピーカード」・「特別利用カード」は発行までに数日要しますのでご了承ください。

学習の悩みは
**図書館学習
サポーター
(としよサポ)**
にご相談ください!!

としよサポは、学部2年次生から大学院後期2年次生からなる学習サポーターです。学習に関する相談ならどんなことでも受け付けます。

中央図書館サービスデスク内に平日16：15～22：00、土日祝日12：00～18：00の間、スタッフが少なくとも1名常駐しています（最大4名）。

先生に話すのはちょっと…、という相談は「としよサポ」までお寄せください。総勢13名のスタッフがみなさんの相談に乗ります！

※情報保護について
相談の内容は図書館スタッフ内で共有します。他の人に知られたくない場合はお申し出ください。（共有するのは相談内容のみです。個人が特定される情報は残しません。）

としよサポメンバー

理工学部

ロイ	院後期2年
蛭名	院前期2年
金田	院前期2年
本間	院前期1年
松橋	院前期1年
チュン	学部4年

教育文化学部

バン	学部4年
村岡	学部4年
南谷	学部4年
伊藤	学部2年

国際資源学部

今井	学部4年
阿部	学部3年
遠藤	学部2年

シフト

	平日
1	16：15～19：15
2	17：00～22：00
3	18：00～22：00
4	19：00～22：00

	土日祝
1	12：00～18：00

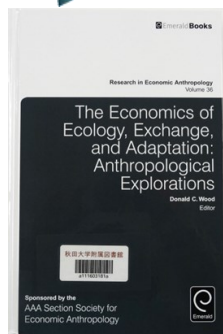
※長期休業期間中は
お休みです。



※当月分のシフトは中央図書館サービスデスクのホワイトボードに掲示しています（急に変更になる場合があります）。翌月のシフトは21日頃に発表します。

本学教職員等著作寄贈図書

本学教員が著し、寄贈されたものです。ありがとうございました。図書館では本学教職員の著作物を積極的に収集し、利用に供しています。出版の折にはご寄贈くださるようお願いいたします。



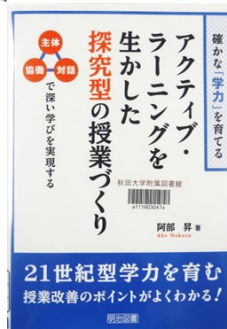
Donald C. Wood先生

The Economics of ecology, exchange, and adaptation : anthropological explorations (Research in economic anthropology : an annual compilation of research, Vol. 36)

331.W86

(中央図書館 2階F-秋田大学)

先生からひとこと：「Research in Economic Anthropology」、訳して「経済人類学研究」36巻には世界中から集まった優れた12の論文が掲載されています。



阿部昇先生

確かな「学力」を育てるアクティブ・ラーニングを生かした探究型の授業づくり：主体・協働・対話で深い学びを実現する

375.1.A12

(中央図書館 2階F-秋田大学)

先生からひとこと：新学習指導要領で重視される「主体的・対話的で深い学び」をどう読み解き、どう実践していったらよいかについて論じた。具体的な指導のポイント・コツも示した。

開催報告

学生と図書館長の懇談会

平成29年2月13日(月)、中央図書館研修室にて「学生と図書館長の懇談会」が行われました。当日は、教育文化学部、国際資源学部、理工学研究科の学生4名が参加し、図書館への思いや学習環境への意見要望などを話してくれました。図書館側からも使い心地などについて質問が出され、活発な話し合いが行われました。

今年度も開催予定ですので、図書館への意見要望をお持ちの学生さんはぜひご参加ください！



過去にはこんな意見が実現しました！



ネットにつながるPCを増やして欲しい



図書リクエストの方法を簡単にして欲しい

国立女性教育会館(以下、NWECC)は、男女共同参画社会の実現を推進するための機関です。そのNWECCで所蔵している図書を、3か月ごとにテーマを変えて、両館各々100冊単位で展示・貸出しています。「キャリア・しごと」、「貧困・格差」、「人権」、「セクシュアリティ」など、現代社会を生きていく上で課題となるテーマが設定されています。

中央図書館では1階新着図書コーナー横と2階Dセクション(視聴覚室横)にて、医学図書館では2階階段ホールにて展示しています。また、NWECC図書は一般貸出とは別に、2冊まで借りることができます(中央図書館：2週間、医学図書館：1週間)。本学所蔵の図書とはひと味違ったラインナップを是非お楽しみください。

※NWECC図書は自動貸出装置では貸出手続きができませんので、学生証(教職員は利用者カード)をお持ちになり、サービスデスクで貸出手続きをしてください。

※現在展示中の図書リストは <http://www.lib.akita-u.ac.jp/contents0/nwec/index.html> で確認できます。

中央図書館2階Dセクション(視聴覚室横)



興味深い本がたくさん！

ご存知ですか？

国立女性教育会館(NWECC：ヌエック)の図書を展示・貸出しています。

図書館からのお知らせ

◆ 学術文献・引用索引データベースWeb of Scienceが利用できます

Web of Scienceは、世界中の影響力の高い学術雑誌の論文を検索できるデータベースです。引用文献情報も収録しています。研究協力者の人選や研究業績の分析のツールとしても活用できます。

URL: <http://www.webofscience.com/>



AUアカウントをお持ちの方は、学認（GakuNin）経由で学外からもアクセスできます。その場合は所属機関（SHIBBOLETH）ユーザーサインイン からご利用ください。

◆ メディカルオンラインが学外から利用できるようになりました

メディカルオンラインは国内の医学関係論文の電子ジャーナルを利用できるデータベースです。論文利用の他にも、医薬品や医療機器のデータベースを検索することができます。

1月から、AUアカウントをお持ちの方は学認（GakuNin）経由で学外からもアクセスできるようになり、たいへん便利になりました。

URL: <http://mol.medicalonline.jp/library/>

学外からアクセスした場合は、学認認証の方はこちらへ からご利用ください。



◆ 「中央図書館プレゼンコーナー」が「PCコーナー」に変わりました！

コモンズ南側奥の一角にあったプレゼンコーナーに情報統括センター端末が設置され、「PCコーナー」に変わりました。普段のPC学習のほか、PCを利用した授業にもご利用いただけます。

PCコーナーのご予約を希望される教職員の方は、中央図書館にて申込書にご記入いただきます。中央図書館サービスデスクまでお申し出ください。

※医学図書館PCコーナーにも情報統括センター端末が5台設置されました。

編集後記

その存在に気づいたのは1年と少し前。窓の外からじっと事務室を伺うように座っていたのは、ふっくらと白い冬毛をまとったうさぎ。以来、テリトリーをローテーションしながら時々姿を現してくれる。ほとんどの時間を静かに座って過ごしているが、時折その辺の草を食んでは毛づくろいする様子に、仕事に追われささくれ立ちそうな心をどれだけ癒してもらったことか。

学修、研究の最先端の情報発信基地であらんとする一方で、がんばる皆さんの心安らかに過ごせる癒しの場にもなる、そんな図書館をめざしたいと、夏毛に生え変わりつつあるマダラ模様のうさぎを見ながら思う今日この頃である。



No.3 平成29年 4月 21日 発行

編集 ■ 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行者 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
中央図書館

TEL: 018-889-2279 FAX: 018-832-4917

MAIL: libriyo@jimu.akita-u.ac.jp

医学図書館

TEL: 018-884-6052 FAX: 018-884-6252

MAIL: ibun@jimu.akita-u.ac.jp